



校区では田植えの準備も進んでいるようです。

令和3年6月9日(水) no.12 文責：上田

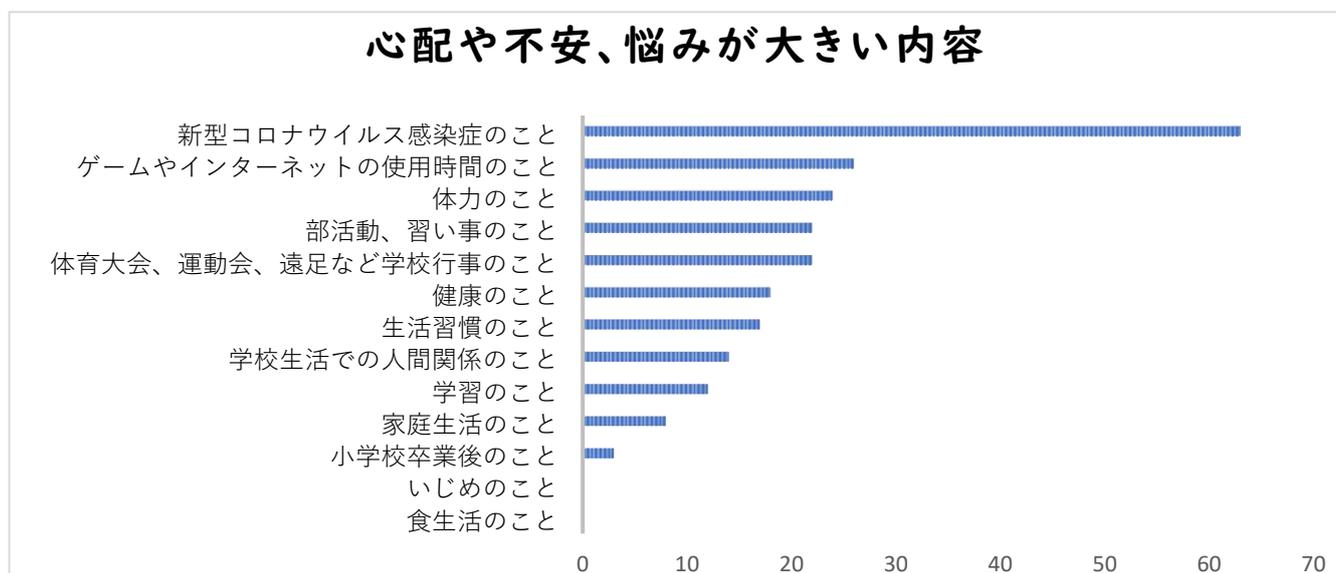
コロナ禍 子ども達の声

コロナ禍、この2年で子ども達の日常も随分と変わりました。先月実施した『心と体の振り返りシート』(調査Ⅱ新型コロナウイルス感染症関係)結果について、一部を紹介します。

問 2(1)「新型コロナウイルス感染症に関連して、心配なこと、不安なこと、悩みはありますか。」

ある……131人 ない……200人

(2)「心配や不安、悩みが大きい内容を3つまで選んでください」



○自分や大切な人がコロナにかからないように願っている。○近くに感染された方がいても偏見や差別をするようなことを発言したりしてはいけないと教えています。○家族がコロナに感染したら・・・と不安。○コロナにかかりやすくなっているからとてもこわいと感じています。(母代筆)○はやくコロナウイルスがなくなって、いろんなところに行きたい。○おばあちゃんのお家に行きたい。○不安だけど、ならない方法をやってかからないことをもっとやりたい。○どうしてコロナがいきなり来たのかが知りたい。○みんなと遊びたい。○自分の家族がかかったらいじめられないか心配。○体力が落ちて運動ができなくなった。○大勢死ななくてすむからコロナがなくなってほしい。○出かける時や登校中、下校中にマスクを必ずすること○マスクを着けていないのにしゃべりかけてくる。○コロナウイルスが広がっているのに大人がいっぱい外に出ているから大丈夫かな。○うつると思うと学校に行きたくない。オンラインでやったらどうかなと最近思う。

これらの回答を見ると、子ども達の心にも影響が表れていることが察せられます。感染症についての知識がなく、テレビ画面からは街に人があふれる様子を見ながら感染者数等が報じられることに矛盾も感じているようです。不安と向き合うことはたやすくはありません。子どもとの時間をつくることも大切な家族の役割ではないでしょうか。その際、生活を支える家族の仕事についても話していただくこともお願いしたいと思います。